

指定管理者評価委員会の評価結果（令和6年度）

令和6年8月20日

評価対象	施設名	みのかも健康の森	
	設置目的・役割等	・保健、保全機能の発揮される森林の整備 ・市民の自然保護意識の高揚及び教育文化の向上	
	施設の所在地	美濃加茂市山之上町7559番地	
	規模等	敷地面積	1,069,268 m ² 担当課
		延床面積等	1,067.81 m ² (鉄骨造1階建て) 農林課
	指定管理者名	可茂森林組合	
	指定期間	R3.4.1～R8.3.31 (公募・ <u>非公募(任意指定)</u>)	

評価委員 (敬称略)	名城大学 都市情報学部教授 赤木 博文 岐阜協立大学 経済学部准教授 藤井 えりの 旅人総研代表 田中 三文 コンサルティングシスト代表 伊藤 慎悟
---------------	---

担当課の報告要旨	
<p>【課題解決に向けた指定管理者の取り組み】</p> <p>・目標入園者数 73,000 人、目標収入 14,700 千円の達成に向け、フリーマーケット等自主事業の継続・拡大を図り、食堂メニューの開発・値上げで入園者数と収入目標の達成を図る予定。</p> <p>・バーベキューの運営は、炭の自前調達等の企業努力により現在の価格で提供出来ているものの大変苦しい状況である。令和5年度よりBBQで使用する炭を有料化して、経費への充当を図っている。</p> <p>・開園から間もなく30年を経過し、施設全体の老朽化が顕著である。市に対して継続して修繕等の要望を行うとともに、材料支給等により自前修繕も積極的に行っている。市としては、優先順位を付けて修繕を実施している。令和5年度は老朽化した遊歩道の整備を実施した。</p> <p>・利用休止中のワイヤー遊具は、定期運営に向け、市と協議を続けていたものの、市外同業者設置遊具の負傷事故が令和5年11月に発生したことにより引き続き利用を休止している。再発防止策等が取られ、利用可能となった際に向けて準備を進める予定。</p> <p>【前回の評価委員会における指摘事項への指定管理者の対応(改善事項)】</p> <p>・令和5年度実施の評価委員会における指摘事項について、指定管理者は下記のとおり取り組んでいる。</p> <p>指摘事項①:「入園者数増加に向けた取り組みについて」</p> <p>対応状況: 自主事業のフリーマーケットを年2回開催して一定の成果があった。今後はさらにフリーマーケットの開催回数を増やすことや、他の自主事業を積極的に開催し、入園者数の増加を図りたい。また、小中学校や保育園は遠足などで令和5年度は19団体、約600人の利用があり、今後も積極的にPRを行い、入園者数の増加に努めていきたい。</p> <p>指摘事項②:「収支状況の改善に向けた取り組みについて」</p> <p>対応状況: 昨今の諸物価の高騰や人件費の高騰にともない赤字決算が続いており、とても厳しい経営状況となっている。経費の削減や人件費の縮小のために無駄のないシフトの調整を行った。また、電気代の節約や食堂メニューの値上げなどを行ったが、赤字解消までは至っていない。今後はさらなる経費の削減、収入の増加に努めるとともに、食堂メニューの充実や再度の値上げなども検討したい。</p>	

【前回の市に対する指摘事項への対応】

① 今後の施設のあり方について

・健康の森は、市内外から約 7 万人が訪れる大規模な森林公園であり、リバーポートパーク、清流里山公園と併せ 3 公園として PR していることから今後も存続させる方向性である。ただし、市としてどのような形で存続させるか、施設の在り方については今後検討する。当施設の在り方に合わせた各施設・設備の改修を行うために、各種補助金の活用やクラウドファンディングの実施も検討する。

・指定管理者の公募を来年度予定しているため、今年度中に改めて施設評価及び指定管理継続の検討を行い、市として今後の施設の在り方について決定する予定である。

② 施設のプロモーションについて

・広告代理店等に委託するプロモーション支援は費用の関係上直ちに行うことは難しい。プロモーションも含めた自主的なイベント開催を希望する民間の方を支援することで、費用負担が少なくかつ効果的なプロモーションが行えると考えている。他にも新しいプロモーション方法を今後検討していく。

総合評価結果

二次評価

B

【評価できる点】

・コロナ禍の影響や物価高騰の中で、経費の圧縮や利用促進に取り組んでいる。
・経営面で黒字には至っていないものの、食堂の価格の値上げ等を行うなど改善努力の結果が収入の増加に繋がっており、前回の評価委員会の結果が活かされている。

【総合評価】

・新規の取り組みや展開がない点など改善が必要な項目はあるものの、管理運営上の大きな問題はない。
・以前のみのかも健康の森と比較して改善努力が見られるため、指定管理者には不満はない。健康の森の今後のビジョンを市が主導して考えていくことを期待したい。

要改善・勧告事項

【指定管理者に対する要望・指摘】

① マーケットの絞り込みについて

・コロナ禍後でも集客数等が戻っていない点が懸念事項として挙げられる。みのかも健康の森がマンネリ化しており、特別な目的がない限りは利用しない施設になっていることが原因として考えられるため、マーケットの絞り込みを検討すべきである。

(新規マーケットの例:トレイルランニング、ペット連れ、マルシェ、小学校・保育園等の体験学習の場(SDGs))

② 森の家の活用方法について

・森の家の利用者数が増加する可能性は低いいため、アンケートにより来園者のニーズを把握し、今後の利用方法を根本的に見直す必要があるのではないかと。別の利用形態にする発想があっても良い。

③ 来園者の声やニーズについて

・アンケートやヒアリングの結果、従業員の声等に基づき、指定管理者としてどのような施設にしたいかを考え、市に対して伝えてほしい。

・現場を管理している指定管理者が現場のニーズなどを把握・分析して、市に対して提案していくことが重要である。アンケート等で来園者の声やニーズを確実に拾い上げた上で現場の声をまとめ、市に提案してほしい。

そ の 他 指 摘 事 項

【市に対する要望・指摘】

① マーケットの絞り込みについて

※指定管理者に対する要望・指摘と同様

② 今後の施設のあり方について

・前回の評価委員会において市に対する要望・指摘としてあげた「今後の施設のあり方」について、この1年間で関係者とどこまで議論を進めたかは疑問に感じる。施設のあり方については、指定管理者ではなく市役所の担当課が動くべきことであり、施設が30年経過した今こそ、立ち止まって改めて施設のあり方を考える必要があるのではないか。

・今後の施設のあり方を考える際には、今までとは異なるみのかも健康の森の活用法やコンセプト等を含めて検討することを期待したい。

③ クラウドファンディング・ふるさと納税等の活用について

・今後も施設を残していくのであれば、財源確保のためにクラウドファンディングやふるさと納税等の活用も検討することが望ましい。特にふるさと納税の利用は可能性が高いと考える。

④ 施設のパンフレットについて

・パンフレットに地図が掲載されていないが、来園する際に困るのではないかと。次回、パンフレットを作成する際は改善してもらいたい。

⑤ その他

・指定管理の評価は指定管理者だけの問題ではなく、関わる行政も同様に評価を受けるべきである。

●二次評価の判定基準

総合評価	基準
A(優 良)	施設の維持管理・運営を適正かつ効果的・効率的に行い、「サービスの向上」、「利用者数・稼働率の向上」及び「管理経費の縮減・費用対効果の向上」を図る具体的な取り組みを積極的に実施している
B(良 好)	施設の維持管理・運営を適正に行い、「サービスの向上」、「利用者数・稼働率の向上」及び「管理経費の縮減・費用対効果の向上」を図る具体的な取り組みを一部実施している
C(課題有)	施設の維持管理・運営を適正に行っているものの、一部課題があり、「サービスの向上」、「利用者数・稼働率の向上」及び「管理経費の縮減・費用対効果の向上」を図る取り組みもあり見られない
D(要改善)	施設の維持管理・運営に問題があり、早急な改善・勧告が必要である